



2023年度

# 藍畑だより

(人権教育特集号)

第10号

2023.6.30(金)

発行責任者 上萩琴美

## 異文化を知ること

「井の中の蛙になるな。」これは、私が中学時代に恩師からかけられた言葉です。この言葉が、私が中学校英語教師になるきっかけをつくったと言っても過言ではありません。

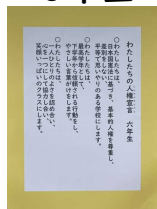
小さな町である神山出身の私が、英語に興味をもち、海外へ目を向け、広い世界を知る度に、この言葉が脳裏を過ぎりました。国内外を問わず、異文化体験は刺激的で、常に新しい知識・思想との出会いがあります。

チベット人歌手のバイマーヤンジンさんは、「異文化とは、生きている環境の違い」だと語っています。海のないチベット出身の彼女は、和歌山で初めて見た海に感動し、常に干ばつに苦しんでいるケニア出身の方は、日本の滝の水を見て泣いていたと紹介しています。そして、自分の環境によって他の国の見え方が違ってくることが異文化だとまとめています。(出典:「あいぽ〜と通信」第64号 [https://www.aiport.jp/\\_files/00007153/no\\_64.pdf](https://www.aiport.jp/_files/00007153/no_64.pdf))

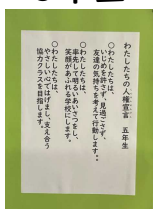
文化の違いによる差別を経験した彼女は、「言葉」の怖さと素晴らしさについても記しています。異文化を知ることによって、自分に何ができるかを考える機会になればと思います。

### 【各学年の人権宣言文】

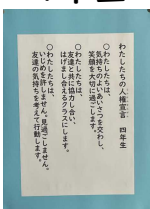
6年生



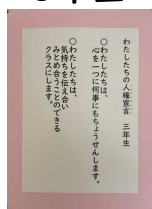
5年生



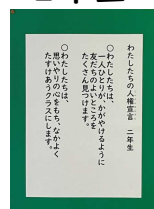
4年生



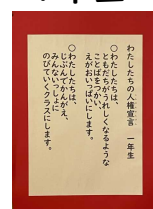
3年生



2年生



1年生



みんなで力を合わせて考え、まとめた宣言文です。

作っただけ・掲示しただけのものにならないよう、いつも心の中に留め、行動する時に思い出し、してほしいと思います。

### 【藍畑小学校人権宣言文】



### 【なかよし(人権)集会】6月20日(火)

#### 「どんな学校にしたいか」



#### 【児童】

- ・全学年が仲良くできる学校
- ・気持ちのいい学校
- ・みんなが楽しくできる幸せな学校
- ・みんなで助け合う学校

#### 【教職員】

- ・子どもたちが思いや考えを伝え合い、学びを高めていける学校
- ・自分もみんなも大切にでき、笑顔あふれる学校
- ・子どもも教師も輝く学校
- ・安心して過ごせる温かい学校



2校時に、児童会主催の「なかよし集会」がありました。

まず始めに、「どんな学校にしたいか」を考え、発表し合いました。

そして、各学年で考えた人権宣言を発表した後、代表委員会でもまとめた学校の人権宣言文を全員で唱えました。5年生が清書し、素敵に飾られた「藍畑小学校人権宣言」は児童玄関に掲げています。来校時には是非ご覧ください。

最後に、みんなで「♪地球の仲間」を歌い、これまで以上に思いやりあふれる学校にしていこうという気持ちを強くしました。

教職員にも「どんな学校にしたいか」のアンケートを実施しました。私が目指す「大きい家族のような温かい学校」づくりに向けて、力強いエールをもらいました。

### 藍畑小教育

#### □ 学校教育目標

『心豊かで、たくましい子どもの育成』-自ら気づき、考え、実行できる子どもの育成-

#### □ めざす児童像

「あ」 あいさつをする子

「は」 はげましあって がんばる子

「い」 いじめをしない やさしい子

「た」 たくましい子